

2010 年実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

《講義録 3 限目》

投稿者：「防災塾・だるま」 中島光明

- ◆開催月日： 2010 年 10 月 14 日（木）
- ◆開催時間： 18：30～20：30
- ◆開催場所： 神奈川大学 横浜キャンパス

■2010 年講座のメインテーマ

“避難所運営に関わる実践力の向上”

今日のテーマ ①

神奈川県危機管理体制の 現状と課題

大災害時、警察の応急対策は…

- 1 被害把握、情報収集
- 2 救出救助、行方不明者捜査
- 3 交通対策、緊急交通路確保
- 4 検視、身元確認
- 5 避難所の警察相談



講師・増田勝也氏
（神奈川県警察本部
危機管理対策課）

<警察から市民にお願い>

- ・避難勧告、避難指示
（危ないと意識する）
- ・行方不明者の情報提供
（地域の情報）
- ・交通規制に対する協力
- ・各種情報の提供
- ・家庭や地域での防災対策
（普通の生活に早く戻すために）

地域では**地元警察・警備課**が
相談に応じますよ！

① 横浜市地震被害想定

（H16年度実施）

項 目	南関東地震	横浜市直下型地震	東海地震
建物被害棟数	120,000棟	82,000棟	1,900棟
焼失棟数	6,900棟	2,700棟	0棟
死者数	3,700人	2,100人	19人
負傷者数	25,000人	19,000人	230人
避難者数	500,000人	340,000人	5,400人

今日のテーマ ② 横浜市の危機管理体制について

改訂版拠点マニュアルの要点とは…

■平常時の活動ポイント

- 1 避難スペースとして使用する場所の事前選定
体育館以外に使える教室、**女性専用スペースの確保**
- 2 防災訓練の企画・実施
「**訓練でできないことは、本番ではできない！**」
- 3 地域防災リーダーの養成
地域防災力は、**ご近所の底力**

◆地域防災の課題

- ・担い手不足→**中学生は大きな力**
- ・地域間格差→**やらされ感から達成感へ**

- ◆**拠点運営の参考に DVD を（21 年度作成）**
拠点運営要領、先進的取組みの紹介



講師：小野寺勝氏（横浜市消防局危機管理室）

■発災時の活動ポイント

- 1 応急手当・医療救急拠点との連携
拠点の救護体制は**10 名**（医師・看護師など）
- 2 避難者の中の要援護者把握
- 3 仮設トイレの設置・環境衛生
「**トイレの管理が拠点運営を左右する！**」
- 4 備蓄食料・救援物資配布・炊き出し
必要な物資は取りまとめて**区本部に要請**